



学校だより

逢う地

お・・思いやりのある学校
う・・美しさに満ちた学校
ち・・力を伸ばす学校

怒・克己・感謝の心を持ち、生き抜く力を身に付けた生徒の育成

R4. 12. 21 第8号 相知中学校 校長室

2学期を振り返って

様々な行事、日々の学習、部活動に精いっぱい 取り組みました！

2学期は、77日間（夏季休業中の午前中を入れると82日間）と1年の中でも最も長い学期でした。その間、修学旅行、職場体験、郷土学習、文化発表会、研究指定公開授業、2度の定期考査に実力試験、佐賀県学習状況調査、更には部活動の新人戦、駅伝大会等々、生徒の皆さんにとって出番や役割を担って活躍する場面がたくさんありました。そして、それぞれの場面で、一生懸命に取り組み、素晴らしい活躍を見せてくれました。

生徒の皆さんも、自分の頑張りを振り返るとともに、まだ努力が足りなかったところ、これからさらに頑張りたいところを自覚して、3学期に向けて見通しを持ちましょう。

新しい年は、ウサギ年です。ウサギのように飛躍の年にしていきましょう。



スマホ、ゲーム機などインターネットで広がる危険

本校で起こる様々なトラブルの原因の多くは、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）に絡む事案です。ライン、ティックトック等の交流アプリを通して起こる、いじめにつながる誹謗中傷、仲間外しといったトラブルが、本校でも発生し、深く傷つく生徒がいる状況です。

対面で使われる言葉と、スマホで送られる書き言葉には、相手に伝わる内容が全く異なります。対面ならば、どのような気持ちでその言葉を発しているのかがわかりますが、同じ言葉でも文字として伝えられる言葉には感情を反映させにくいので、発した人の本当の気持ちは伝わりにくく、時に誤解を生んでトラブルになるのです。発信した方は、悪気がなくとも、受け取る側に真意が伝わらなければ、相手を傷つけることがあることを忘れてはなりません。

例えば、対面しての会話では、親しみを込めて「お前バカだねー」と笑いながら言えば、その言葉の真意が、表情や態度で理解できるのですが、文面で「お前バカだねー」と送られてくると真意がわからず、本当にバカにされているように感じて傷つくことがあります。

SNSでの会話は、そうした伝わりにくさ、誤解されやすさがあることを十分に理解し、怒の心を持って、想像力を働かせながら、やり取りをする必要があります。

また、まったく見知らぬ人とのやり取りは、大変危険です。相手がどんな人なのか、文面からではわかりません。中には、詐欺や犯罪を目的に、優しい言葉で近づく人もいます。性別も年齢も嘘かも知れませんし、写真を送ってきたとしても本当に本人の写真かどうかもわかりません。逆に写真を送ったりすると悪用されかねず、一生後悔することになります。

保護者の皆様をお願いします。こうした危険性やトラブルが起こることを十分にご理解いただいて、お子さんのスマホやゲーム機は、ルールを決めて管理をしてください。お子さんを被害者にも加害者にもしないために、どうぞ、よろしくお願いします。

最近、学校内に無断でスマホを持ち込み、写真を撮るなどしている生徒がいるという情報がありました。学校へのスマホの持ち込みは原則禁止しています。これは学校の秩序を守るためのルールです。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。

特別に、放課後どうしても連絡を取る手段として必要だと保護者から申し出があれば、朝預かって、放課後返すという対応で許可をしています。その場合も、他の生徒の前では使わないという約束もしています。このルールは、是非お守りください。

表彰おめでとう！！

青少年読書感想コンクール 唐津地区審査

(第7号にも掲載していましたが、誤りがありましたので、訂正して再掲します。すみません。)

特選 1年 小松 功武

入選 3年 峰 陽花 尾崎 麗鈴 富田 晴悟 富田 史織

2年 稲又 妃南 池田 しづく 佐伯 理湖

佳作 2年 秀島 陽葵 1年 小松 心羽音 小松 梨乃 峰 藍里

唐津地区近県ソフトテニス大会

第3位 宮口 柚衣 (唐津選抜)

唐津地区近県ソフトテニス大会 1年 女子の部

優勝 1年 飯田 桃華 田代 聖乃

唐津地区軟式野球大会(1年生大会)

パート優勝 野球部 1年生